

～次期企画立案や保守の最適化に向けた見える化～

資産分析サービス

お客様の課題

アプリケーション資産の棚卸し

- ・不要な資産の圧縮
- ・ライブラリ管理手順の見直し

保守・開発環境の改善

- ・アプリケーション保守の品質向上
- ・生産性向上
- ・開発期間の短縮

今後の開発、運用環境の検討

- ・オープン環境の活用方法
- ・現行資産の活用方法



その課題、「資産分析サービス」が解決します！

特長

各分析サービスは次期企画立案、保守の最適化に有効に活用できます。

サービス名称	サービス概要	次期企画立案に向けた活用例
稼働資産分析	現在保有しているアプリ資産の相関関係を分析し、稼働していない資産を洗い出します。	●現行業務を実現している実態規模が明確になるため、 次期システム検討の対象規模 を把握できます。
類似分析	COBOLソースの類似性を分析します。	
資産特性分析	プログラム規模、複雑度、構造化度などの観点から保守性の難易度の分析を行います。	●保守性の悪いシステムは作り直し、良いシステムはソースを再利用するなどの 開発方針の方向付け ができます。 ●保守性の悪いシステムから再構築するなどの 再構築の順序付け に活用できます。
保守難易度分析	アプリケーションの複雑さ(保守難易度)を可視化し、品質や保守労力への影響度を分析します。	●アプリ品質管理や見積りなど アプリ保守作業の改善点 が見えます。(予想障害率、予想工数)
システム関連分析	ファイルと処理(プログラム、ジョブ、サブシステム)の関連を明確にします。	●同じDBにアクセスしているプログラムを同時に移行するなど、 施策を実施する範囲 が分かります。

